わたしの声を聴いて

激しく愛し、嘆き、運命に抗った女性たち。
17 世紀イタリアの作曲家たちの繊細な描写をたどる午後。

— 主な曲目 —

モンテヴェルディ
《アリアンナの嘆き》*Lamento d'Arianna*

モンテヴェルディ
《苦しみはかくも甘く》*Si dolce 'l tormento*

ストロッツィ
《何ができようか》*Che si puo fare*

メールラ
《信じるなんてどうかしている》*Folle e ben che si crede*

ノターリ
《ああ、私の中で炎が燃え増す》*Ahi, che s'accresce in me*

メールラ
《第二旋法のトッカータ》*Toccata del secondo tono*

ほか

2026.
11.28 (土) 15:30 開場　16:00 開演

前売 4,000 円 ／ 当日 4,500 円
全席自由

会場：今井館聖書講堂（東京都文京区本駒込 6-11-15）

ソプラノ
長島 麻衣子

チェンバロ
辻 文栄


©yOU(YukoKawasaki)

17 世紀イタリアに生まれた愛と嘆きの物語を
歌とチェンバロの音色で紡いでいきます。

情熱的な女性たちの、狂おしいほどの
感情の揺らぎに共鳴するひとときを…

前売り QR コード
（11/27）まで有効

《ご予約・お問合せ》
アウラ・リーニ　*auralini.info@gmail.com*

主催：アウラ・リーニ
後援：日本イタリア古楽協会

わたしの
声を聴いて

出演者プロフィール



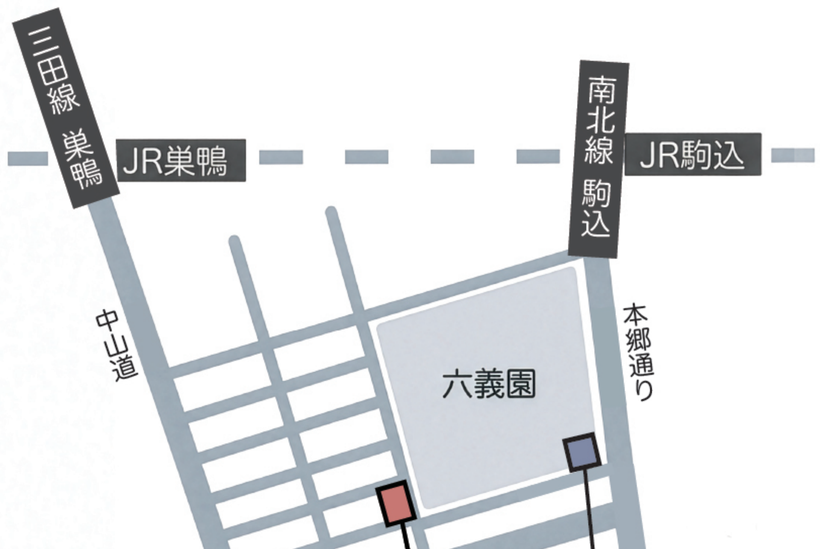
長島　麻衣子（ソプラノ）

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業、同大学院修了。
声楽を林ひろみ、波多野睦美、ルーファス・ミュラーの各氏に師事。
ドイツのオルデンブルク、イタリアのオデルツォにて演奏会やオペラに出演。
国内ではオペラに出演のほか、リサイタルを開催。
招かれてチャペルコンサートにも多数出演。
2013-2015 年、練馬区主催の寿大学で合唱クラスの講師を務めた。
歌声サークル「抒情歌倶楽部」講師（2015-2023 年）。
バロック音楽および日本歌曲を中心に活動の幅を広げている。
歌に込められた細かな感情の機微の表現と、柔らかくて繊細な歌声に定評がある。



辻　文栄（チェンバロ）

上野学園大学音楽学部オルガン専門卒業、イタリア・コモ国立音楽院修士課程
チェンバロ科修了、同音楽院にてオルガンの 1 年コース修了。
2019 年ウルビーノ古楽講習会にてアシスタント通奏低音奏者を務める。
リサイタルシリーズ「イタリア古楽花伝」を毎年行い、2022 年発売の
チェンバロ・ソロ・アルバム「イタリア古楽花伝」はレコード芸術、朝日新聞、
音楽現代 、Stereo から高く評価された。
現在 桜美林大学芸術文化学群チェンバロ講師。
チェンバロを G.Togni、渡邊順生、オルガンを小林英之、E. Viccardi、
室内楽を P. Beschi の各氏に師事。
ホームページ http://musicadanemo.com/



今井館聖書講堂（東京都文京区本駒込６–11–15）

- ＪＲ山手線「駒込駅」南口より 徒歩 11 分
- 南北線「駒込駅」２番より 徒歩８分
- 都営三田線「千石駅」A4 より 徒歩５分

前売り QR コード
（11/27）まで有効

《ご予約・お問合せ》

アウラ・リーニ
auralini.info@gmail.com

主催：アウラ・リーニ
後援：日本イタリア古楽協会

※ 未就学児のご入場はご遠慮ください。